



進路通信

令和5年10月27日【2年生・第3号】

東京都立南大沢学園

校長 井上 美保
発行 進路指導部

後期インターンシップが始まっています

初めて1人で通勤し、1週間または2週間仕事が中心の生活をする…。初めてづくしの前期インターンシップ期間が終わり、後期インターンシップが始まっています。インターンシップに行く前の緊張感はとても強く、不安も期待も大きかったことでしょう。インターンシップ中、成功も失敗もそれぞれあったと思いますが、自分にできること、得意なことや苦手なこと、自分の新しい可能性等を知ることができたはずです。後期は、前期インターンシップとは別の職種を経験しますので、この体験を自分の将来を考える上での材料にしてほしいと願っています。

インターンシップにはご家庭の支援が欠かせません。保護者の皆様には、日誌記入や日々の励まし、お弁当作り等、多くの面でご協力をいただきありがとうございました。後期もよろしくお願いいたします。

生徒の感想

9日間のインターンシップで行ったことは、DM作成、押印などです。最初はうまくいかないことがありました、慣れていくにつれてできるようになりました。

職場では最初は緊張しましたが、9日間頑張りました。(職種：事務)

保護者からの声

- この2週間、色々なことを経験しながらよく頑張ったと思います。家でも毎日、その日のことを振り返りながら話をしました。一度ではなかなか入っていかないところがあるため、繰り返し伝えていく2週間でした。
- 同じ事での失敗や日々毎日行っている事であるのに、言わないとできないことなど、それを言われなくともできるように頑張って身に付けていこうねと話をしました。

～後期インターンシップに向けて～



前期インターンシップとの大きな違いは、『2回目のインターンシップとして見られる』という点です。作業能力や技術においては、職場によって仕事内容が違うので、なかなかできないことや難しいことがあるのは仕方ありません。インターンシップ中に少しでも成長できるように努力をすれば良いことです。しかし、挨拶、言葉遣い、仕事に向かう姿勢や態度、報告・連絡・相談、身だしなみ、持ち物の管理など、どの職場でも共通する基本的な事柄はそうはいきません。「まだ慣れていないから難しい」という言い訳は通じません。2年生のこの段階でどこまでしっかりとできているか、という視点で見られます。また、前期インターンシップで明らかになった課題は後期の目標に設定し、達成できるよう努力することが必要です。いつまでたっても目標が同じという状態を続けるのではなく、課題は一つずつクリアし、次のステップへと成長できるようにしましょう。